

作品No. 8

作品名『友達と歩く何気ない道』

---

『アピールポイント』と『シャッターを切るに至った思い』

佐呂間収穫祭に誘われて、収穫祭の帰り道記念に写真を取ろうと考えた私は、スマホをポケットから出し、シャッターを切ったその瞬間、今までの道がろくでもなくなり、今この瞬間の道が友達と歩くことにより宝物や宝石に見えて、私はカメラを撮ることは小学生の時から好きで色々な人や色々な風景を撮ってました。ですがこの写真は一番上手く撮れて、一番好きになった写真です。

